

## 2009 真間祭 "Showa Revolution" ～ 新生昭和の幕開けに向けて～



新校舎内のラウンジを活用した弦楽部のコンサート

今年の真間祭は、新型インフルエンザ感染の拡大防止で一般公開が中止になった。それまで準備したことも変更を余儀なくされ一日だけの学内発表となったが、準備した生徒会も残念な気持ちで切り換え、今自分たちに出来ることを精一杯取り組んで当日を迎えた。

11月3日(火)に第3アリーナで全員マスク着用の中で開会式が始まり、小泉実行委員長から今年のメッセージが力強く伝えられた。今年は来年の新キャンパス完成につながる新たな変革を掲げ「Showa Revolution ～新生昭和の幕開けに向けて～」をテーマに生徒会が企画を練って取り組み、昭和学院生の感性を自由に表現できるように気を配ってきた。そして真間祭をきっかけに挨拶をしっかりとやろう、ゴミのないきれいな環境作りをしよう、との呼び掛けがあった。新校舎での新たな発表展示や吹き抜けを利用してスタンド切り絵の光を背景にした弦楽部と音楽部のコンサート、第3アリーナを利用した生徒会の催し物と高2の縁日とのコラボレーション、さらに中学校前の通りを通行止めにして真間祭広場をつくり地域社会にも開放し交流の場にした。そこでは高2や運動部父母の屋台を設置、さらに盛り上げるために吹奏楽部の演奏を実施、そして今回は新型インフルエンザのために生徒は残念ながら鑑賞できず父母、地域の人たちを対象にし



た伊藤記念ホールでのゴスペルコンサートと様々な試みが出来た。新校舎北口から入るとエントランスホールには美術部の毎年恒例の大壁画が展示、今年はジョルジュ・スーラ作『グランドジャット島の日曜日』が展示され目を引いた。1階のギャラリーには書道研究部の素晴らしい作品と家庭科研究部製作の美味しそうなアップルパイとえびせんを展示販売。また2階では、高2のカレーやチュロスなどの模擬店にぎわった。3階は高1と中学の展示も例年に比べ自由な発想で昭和島シーパラダイスやイントロクイズやフィーリングカップルなど、また職場体験報告と未来人間を取り巻く世界をユニークに発表した展示でした。3・4階の各文化部の展示発表ではそれぞれ取り組んでいる内容を例年に劣らず工夫展示していた。そして第3アリーナの生徒会企画は新体操・パトン・ダンスの演技発表と吹奏楽部の演奏に見入りながら、高2の縁日も盛況な販売風景でした。カラオケ大会や男装・女装も拍手喝采でした。真間祭広場では大勢の人がにぎわい卒業生の提供の大量のキャベツも地域の住民にあつという間に売り切れたり、屋台では生徒と父母入り交じっての呼び込みも大盛況でした。また、今回伊藤記念ホールでおこなったゴスペルコンサートには多数の父母、地域住民の申し込みがあったが生徒と一緒に鑑賞が出来ず、心に響く感動のコンサートに残念がる父母の声が多数聞かれた。

今回の新たな試みが来年の創立70周年の真間祭につながり、新生昭和学院の幕開きとなることを期待したい。



伊藤記念ホールでのゴスペルコンサート

校外教育

職場体験

芸術鑑賞会

# 思い出に残る数々の学校行事

## ■ 高2

### 山陰・山陽校外教育

11月24日～27日まで、山陰山陽で校外教育が行われた。今回は校長先生もご同道された。24日は東京駅に7時に集合した。新幹線に乗り、昼過ぎに広島到着、そのまま平和記念公園で見学をした。被爆された方の体験をお聞きし、記念館で壮絶な光景の写真や遺留品を見た。その後宮島に宿泊した。翌25日朝、厳島神社を見学した。干潮時の鳥居は雄大であった。昼食は津和野のコースと、仙崎のコースに分かれ、その場所で取った。仙崎は、まれに見る晴天に恵まれ、青海島観光船での島一周は、絶景にみな感動した。津和野散策では、堀が巡らされた殿町通りなどの街の風景が優美で、生徒はその空気に浸った。26日は場所を変え、萩市内で班別行動を行った。松陰神社など長州藩ゆかりの史跡をまわった。27日は、秋吉台で鍾乳洞を見た。奇岩の群れに皆言葉を失った。帰路は飛行機で、18時頃羽田に到着した。初日、雨にたたられたが、その後は晴天続きで、紅葉の秋の旅を満喫した。



広島市の平和記念公園



奈良公園で鹿と戯れる生徒たち

## ■ 中3

### 京都・奈良校外教育

9月2日～4日の日程で京都・奈良の校外教育が実施された。1日目の奈良では、最初に東大寺、奈良公園を見学。予想以上に大きな大仏に感嘆の声があがった。また、天然記念物の鹿に追われて、はしゃぐ生徒の姿があった。その後、薬師寺ではお坊さんからユーモアあふれる中にも「自分次第で物事は変わる」とありがたいお話を聞いた。2日目は京都の伝統芸能・世界遺産・幕末・太秦映画村などのコース別行動で、十円硬貨の平等院や金閣寺の見学地では歴史の深さを改めて感じた。また、八つ橋作り、友禅染めなどを体験し、京都の伝統に触れることができ、生徒たちは大変喜んでいて。3日目の最終日は清水寺の見学と建仁寺での座禅体験であった。雑念を抱かず座禅することは難しかったが、生徒にとっては良い経験となったようだ。旅行中は新型インフルエンザ対策としてマスク、手洗いの励行などが徹底され不自由な部分もあったが、古都の歴史・文化を満喫し、また学級の親睦も深めることができ、中学校最後の思い出に残る3日間であった。

## ■ 中3

### 職場体験

去る9月29日(火)・30日(水)の2日間、昭和学院中学校として初めての職場体験が中3生徒全員により行われた。教師・生徒共に初めての経験ということもあり、多少の戸惑いもあったが、準備を重ねるうちにその不安も吹き飛んだ。

事業所の開拓から始まり、受け入れのお願い、挨拶状の送付、生徒へのマナー指導等、数多くのオリエンテーションを経て、生徒たちは本番に臨んだ。体験後、お世話になった事業所へのお礼状を発送し、中3職場体験は終了した。

たった2日間という短い職場体験ではあったが、終了後生徒たちの顔は一樣に、充実感と達成感に満ちあふれていた。この貴重な2日間を、生徒一人ひとりの今後の職業選択に役立ててもらい、また働くことの大切さ、大変さを理解してくれればと思う。ちなみに来年2月9日(火)・10日(水)の2日間、中2生徒の職場体験が実施される予定である。



職場体験をする生徒たち



迫力ある和太鼓の演奏

## 芸術鑑賞会

### 和太鼓集団「鬼太鼓座」

10月28日(水)～29日(木)、今年度の芸術鑑賞会が伊藤記念ホールにて2日間に渡り行われた。今回は、欧米で高い評価を受けている和太鼓集団「鬼太鼓座」の主要メンバーだった演奏者を中心とした和のアンサンブル、「AUN J-CLASSIC ORCHESTRA」の迫力ある演奏を楽しんだ。28日は中学生、29日は午前が高2・高3、午後が高1と招待者を対象とする3回の公演が行われた。

2学期に入り、新型インフルエンザが流行し始めたこともあり、鑑賞会では予防策が徹底された。ホール入口で全員手の消毒、マスク着用となった。一見、不思議な光景だ。しかし、演奏が始まると一気に気持ちはステージへ集中。新しいホールの音響は素晴らしい。太鼓・笛・三味線・琴と次々と楽器が登場、その音色と技術の高さに驚き感動した。また、鳴師のコミカルな動きや、突然の客席からの登場、1つの三味線を2人で演奏するなど見る方も楽しませてくれた。「日本でいいなあ」と、しみじみ思う1日であった。

音響は素晴らしい。太鼓・笛・三味線・琴と次々と楽器が登場、その音色と技術の高さに驚き感動した。また、鳴師のコミカルな動きや、突然の客席からの登場、1つの三味線を2人で演奏するなど見る方も楽しませてくれた。「日本でいいなあ」と、しみじみ思う1日であった。

インターハイ・国体

全中

奨学会

## 2009インターハイ・国体・全中

全国大会への出場さえ難しい中、本校は常に顔を揃えている。しかし、常に勝つことを求められ、各部様々なプレッシャーの中で戦ったに違いない。更なる飛躍の糧となる結果すべてに、健闘を称えたい。

### 全中

○ソフトテニス部 女子団体準優勝（木谷さん：3の4、鷓飼さん：3の2、齊藤さん：2の2、浅川さん：2の2、大羅さん：2の4、石垣さん：3の3、横関さん：3の2、浮谷さん：2の1）

○新体操部 団体3位（キャプテン穴倉萌美さん：3の3）

○水泳部 女子個人・リレー出場（個人出場 小川朱音さん：1の1）

【Voice】中学ソフトテニス部顧問 高原良江

「今年の宮崎全中では、熱い太陽の下、チーム一丸となり全力で戦うことができました。感謝の心を忘れずに来年もがんばります。」

### インターハイ

○新体操部 団体8位（キャプテン西紗也加さん：3B4）

○ハンドボール部女子 1回戦（部長 生島真希さん：3A4）

○バスケットボール部女子 ベスト16（部長 斉藤玲奈さん：3B1）

○体操競技部 団体13位（部長 岡本 彩さん：3B1）

○ソフトテニス部 ダブルス3回戦（江澤さん：2A1、肥後さん：1B3）

○水泳部 女子400m個人メドレー9位（渡辺 彩さん：1A2）

### 国体

○新体操部 総合3位（相馬さん：2B2、江田さん：1A3、小林さん：1A4、三上さん：1B3、西さん：3B4、村上さん：2B2）

○ハンドボール部女子 2回戦（部長 生島真希さん：3A4）

○水泳部女子 100m背泳ぎ8位（渡辺 彩さん：1A2）

400mメドレーリレー4位（同上）

男子 400mリレー8位（中井雄太君：1A2、中村和貴君：1B2）

【Voice】新体操部顧問 塩屋恵美子

「悔しさの残るインターハイ8位。一致団結、納得の3位。明暗の差は精神力に有り。来年は精神力向上に努め常勝昭和を誓う。」



全中・団体準優勝のソフトテニス部



国体・総合3位の新体操部



インターハイ・ベスト16のバスケットボール部（女子）

## 奨学会報告 No.122

### 平成21年度 第2回 奨学会常任理事会

平成21年度 第2回 奨学会常任理事会が、9月26日（土）午後1時より新校舎3階メディアセンター自習室で開催された。

議題は多方面でいろいろと影響を及ぼしている、新型インフルエンザの件が多かった。二学期始まってすぐ実施された、中3修学旅行では旅行中に生徒が新型インフルエンザにかかり、帰着後は中3が学年閉鎖を余儀なくされたこと、その後、中学高校で相次ぐ学級閉鎖が続いたことなどの話があった。また、真間祭準備委員長から奨学会役員への協力の呼びかけがあったが、新型インフルエンザの対応について、2週間前に決定するという話があった。その他、バザーにおいては提供品についての保管場所や父母の協力の件、駐輪場の確保や警備の強化など懸案事項が、次々と議題にあがった。その後、インフルエンザの流行は止まることを知らず、全国規模で広がりを見せ、多くの行事や催し物は中止、または規模を縮小せざるを得ない状況となった。本校も諸般の事情を鑑み、真間祭は11月3日の1日だけで、しかも本校生徒のみの開催となった。そのため、奨学会室はなく、各部に依頼した警備の仕事もなくなるなど、例年になく寂しいものとなった。その上、11月17日に計画していた奨学会主催の秋の研修旅行

（茨城方面）も、中止となった。他には子どもたちの学校生活の件で、いくつかの質疑応答と、千葉県私学振興大会への積極的参加の願いがあり、最後に長谷見奨学会会長の挨拶でお開きとなった。

とにかく今学期は、新型インフルエンザに始まり、新型インフルエンザで終わったという印象を拭えない。そのため、奨学会としても十分な活動ができなかった。来学期以降は、より子どもたちが住みよい学校の環境作りに、寄与して行きたい。

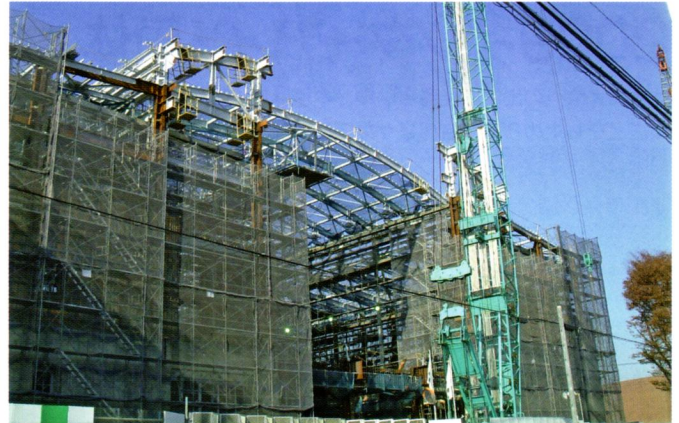


挨拶をする長谷見奨学会会長

新キャンパス計画

来年3月竣工予定

新キャンパス計画が順調に進んでいる。昨年度には、中高新校舎1期工事で伊藤記念ホールが完成したので、生徒は新たな施設での学校生活を始めている。現在進行している校舎2期工事は、来年3月に竣工する予定なので、新年度より中高すべての生徒が、新校舎での学校生活を送れるようになる。また、新体育館の工事も、順調に進み来年5月末には竣工予定である。この体育館では、来年9月から10月に開催される「夢半島千葉国体」女子ハンドボール競技会場として利用されることと決定している。本校ハンドボール部の活躍が楽しみである。



新体育館工事状況



創立記念館

昨年より、曳家工事を  
して改修

進めていた創立記念館が本年10月に完成した。この建物は、市川市の名誉市民である昭和学院創立者伊藤友作先生の居宅であった建物で、昭和6年に千葉市の長州町に建設され、昭和18年この地に移築し、築後80年近く経った大変貴重な木造建物である。この建物には、創立者御夫妻の面影が、建物の柱1本1本に残っており、創立以来この学舎に薫陶を受けた卒業生や関係者の心のふるさととなっている。この建物を創立記念館と命名し、長く保存することになり、今日に至っている。現在は、真間川沿いの桜並木の近くに移築し、新築の伊藤記念ホールと一体となった整備を行い、地域に開放された学院として、また地域の文化の貴重な拠点となるように整備を進めたい。

平成22年度 生徒募集要項

昭和学院中学校高等学校

中学校	第1回一般入学試験	第2回一般入学試験	第3回一般入学試験
募集人員	20名(男女)	20名(男女)	20名(男女)
願書受付	平成22年1月12日(火) ～1月16日(土)	平成22年1月16日(土) ～1月21日(木)	平成22年1月27日(水) ～2月5日(金)
試験期日	1月20日(水) 午前9時	1月22日(金) 午前9時	2月8日(月) 午前9時
入試科目 選考方法	①筆記試験 2科 国語・算数(各50分) 4科 国語・算数(各50分) 理科・社会(各30分) ②個人面接(本人)	①筆記試験 2科 国語・算数(各50分) 4科 国語・算数(各50分) 理科・社会(各30分) ②個人面接(本人)	①筆記試験 2科 国語・算数(各50分) ②個人面接(本人)
合格発表	1月21日(木) 午前10時 校内掲示	1月23日(土) 午前10時 校内掲示	2月9日(火) 午前10時 校内掲示
入学手続き	1月21日(木)・22日(金) 25日(月)の3日間	1月25日(月)・26日(火) 27日(水)の3日間	2月9日(火)・10日(水) 12日(金)の3日間

高等学校	前期選抜試験				後期選抜試験	
募集人員	160名(男女)				20名(男女)	
願書受付	平成22年1月4日(月)～1月8日(金)				平成22年1月18日(月)～1月22日(金)	
入試 志望	A推薦(校長推薦)	B推薦(併願推薦)	C推薦(自己推薦)	特待生(学業)入試	一般入試	
	第1志望	第2志望	第1志望		第1志望	
試験期日	1月16日(土) 午前9時	1月16日(土)9時 または 1月17日(日)9時	1月16日(土) 午前9時	1月17日(日) 午前9時	1月27日(水) 午前9時	
入試科目 選考方法	①個人面接 ②書類選考	①基礎学力検査 ア. 英語・数学 イ. 英語・国語 各40分 ア,イから選択 リスニングテストなし ②個人面接 ③書類選考	①常識試問 40分 ②個人面接 ③書類選考	①学科試験 国語・英語・数学 各50分 リスニングテストあり ②個人面接	①学科試験 ア. 英語・数学 イ. 英語・国語 各40分 ア,イから選択 リスニングテストなし ②個人面接	①学科試験 国語・英語・数学 各50分 リスニングテストあり ②個人面接
合格発表	1月17日(日)	1月17日(日) 1月18日(月)	1月17日(日)	1月18日(月)	1月28日(木)	
入学手続き	午前10時 校内掲示 平成21年1月18日(月)～1月21日(木)				ホームページにも掲載 平成21年1月28日(木)～2月1日(月)	